

## － 書籍「次世代原子炉が拓く新しい市場」のご案内 －

2023年10月  
(一社) 日本原子力産業協会  
原子力システム研究懇話会

当懇話会では、時宜にかなった重要テーマについて、当該分野の第一人者より解説いただくコメントシリーズを毎年刊行しています。

本年度は、シリーズ No.28「次世代原子炉が拓く新しい市場」(B5版、本文279頁、著者数24名)を10月に発刊しました。購入をご希望の場合は、実費(頒価2,800円(税込、送料別))にてお届けいたしますので、下記事務局までご連絡ください。

### <<本書の読みどころ>> (「編集後記」より)

この資料の企画を始めたのは、ロシアのウクライナ侵攻開始前であった。

2022年2月に、突然、ロシアがウクライナ侵攻を開始し、更に、2021年の夏の欧州の猛暑と干ばつが世界のエネルギー需給の逼迫に拍車をかけた。ドイツですら原子力発電所の延長が議論されている。世界的なエネルギー危機による化石エネルギー価格の急上昇に加えて、我が国においても、異常気象による電力需要の上昇が電力不足に拍車をかけている。

このような状況を踏まえて、政府は「第6次エネルギー基本計画」の「東京電力福島第一原子力発電所事故を経験した我が国としては、2050年カーボンニュートラルや2030年の新たな削減目標の実現を目指すに際して、原子力については安全を最優先し、再生可能エネルギーの拡大を図る中で、可能な限り原発依存度を低減する。」とする基本的な方針を解凍し、原子力政策を大きく転換した。原子力は将来にわたって持続的に活用する。そのために「次世代革新炉」の開発・建設に取り組むことを決めた。また、既存プラントの再稼働と可能な限り活用するために運転期間延長に関する新しい指針を整備した。この資料の企画を始めたころには予想もなかった我が国の原子力政策の大きな転換である。

最近の国際原子力機関 (IAEA) の発表によれば、革新的な原子炉を含む80以上の小型モジュール原子炉 (SMR) 設計が18カ国で開発中である。

この資料が、「将来の新しい原子力市場」の開拓に向けた「次世代原子炉」の教育・研究・開発・実用化にお役に立てれば幸いである。

### 【本件連絡先】

原子力システム研究懇話会 事務局 (木藤、望月、醍醐、富田)

〒105-0001 東京都千代田区虎ノ門 1-7-6 升本ビル 4階

e-mail: [syskon@syskon.jp](mailto:syskon@syskon.jp) 電話 : 03-3506-9071 <http://syskon.jp/> 以上